

平成28年9月5日
公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構

米取引関係者の判断に関する調査結果 (平成28年8月分)

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を毎月実施しています。

平成28年8月分の調査概要については次のとおりです。

【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をD I※として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

平成28年8月分の主な調査結果

主食用米の需給動向については、現状判断、見通し判断とも前月から「やや増加」となりました。

米価水準については、現状判断は「横ばい」、見通し判断は「大幅に増加」となりました。

■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断 58 (前月からの増減 +4)
- イ. 見通し判断 53 (前月からの増減 +3)

■主食用米の米価水準

- ア. 現状判断 50 (前月からの増減 ±0)
- イ. 見通し判断 69 (前月からの増減 +7)

※D I (Diffusion Index)

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

米取引関係者の判断(平成28年8月)

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア)現状判断DI

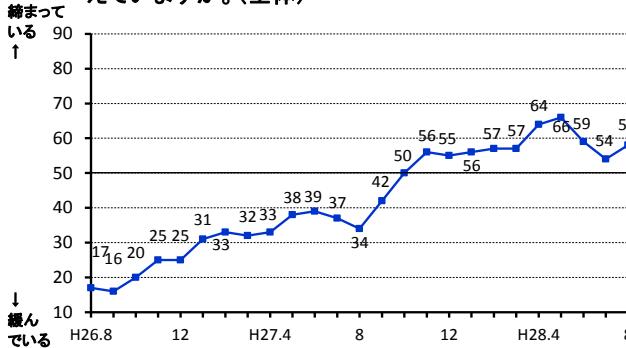
前月からの増減 +4 (今月の数値 58)

(イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

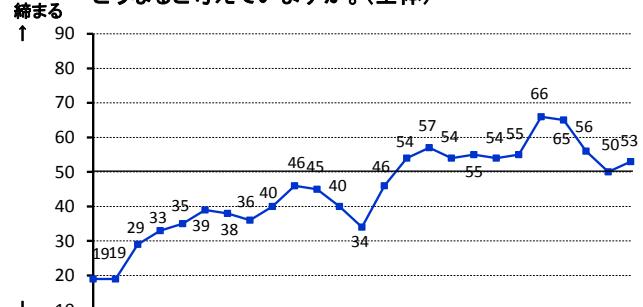
前月からの増減 +3 (今月の数値 53)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考 えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、 どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア)現状判断DI

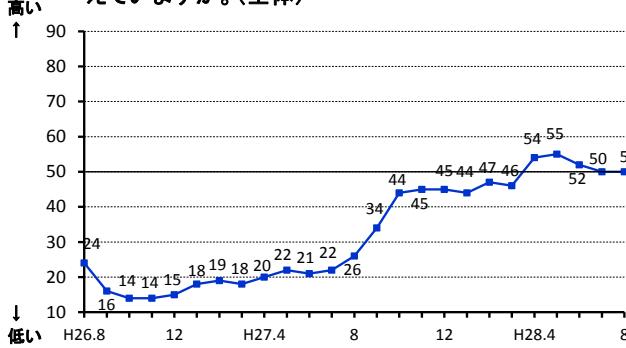
前月からの増減 ±0 (今月の数値 50)

(イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

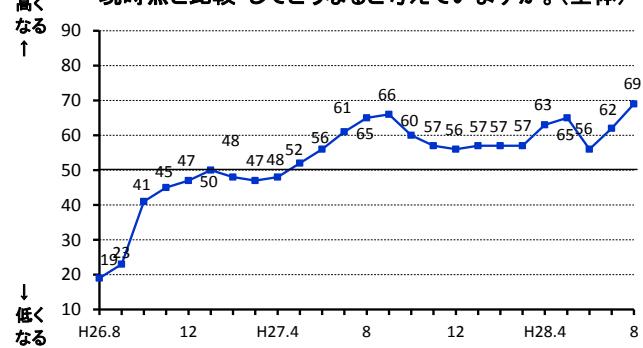
前月からの増減 +7 (今月の数値 69)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考 えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、 ”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国との政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H26.8	9%	35%	2%	38%	11%	3%	2%
H26.9	8%	34%	2%	34%	8%	10%	2%
H26.10	8%	28%	3%	38%	6%	11%	3%
H26.11	10%	32%	8%	36%	14%	4%	2%
H26.12	3%	27%	4%	36%	11%	9%	2%
H27.1	4%	28%	6%	46%	19%	7%	1%
H27.2	2%	31%	5%	38%	16%	8%	1%
H27.3	2%	28%	3%	40%	17%	7%	1%
H27.4	1%	25%	4%	41%	19%	6%	3%
H27.5	2%	26%	8%	37%	15%	9%	3%
H27.6	4%	26%	8%	38%	17%	7%	3%
H27.7	8%	22%	11%	39%	13%	3%	3%

	作柄	国内の在庫水準	国との政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H27.8	8%	19%	17%	40%	6%	4%	3%
H27.9	16%	14%	14%	42%	6%	4%	3%
H27.10	17%	16%	5%	46%	9%	6%	4%
H27.11	13%	15%	8%	44%	7%	9%	2%
H27.12	7%	12%	8%	51%	12%	6%	3%
H28.1	4%	18%	7%	52%	14%	4%	2%
H28.2	4%	19%	4%	53%	13%	5%	1%
H28.3	3%	18%	7%	47%	17%	4%	2%
H28.4	3%	21%	13%	59%	10%	6%	4%
H28.5	2%	21%	13%	52%	9%	5%	2%
H28.6	4%	19%	9%	51%	11%	4%	1%
H28.7	3%	22%	14%	47%	7%	5%	2%
H28.8	9%	18%	12%	50%	7%	3%	1%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、
反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。]

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

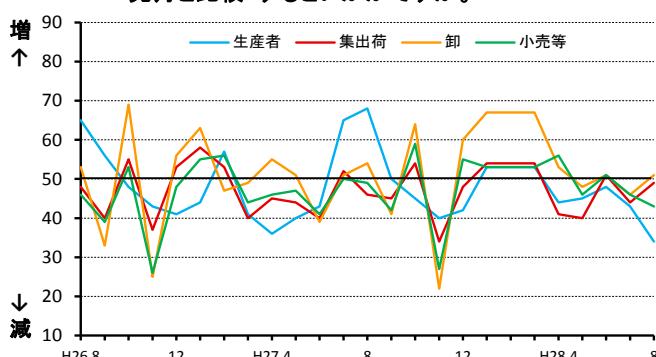
a. 先月との比較

生産者	前月からの増減	-9	(今月の数値 34)
集出荷	前月からの増減	+5	(今月の数値 49)
卸	前月からの増減	+5	(今月の数値 51)
小売等	前月からの増減	-3	(今月の数値 43)

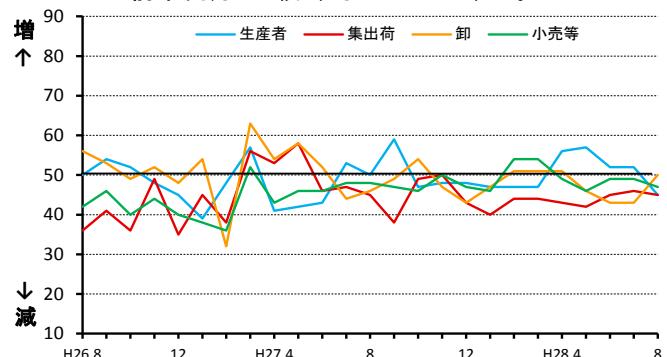
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	-7	(今月の数値 45)
集出荷	前月からの増減	-1	(今月の数値 45)
卸	前月からの増減	+7	(今月の数値 50)
小売等	前月からの増減	-2	(今月の数値 47)

①-ア-a 貴社の“今月”的主食用米の”販売数量”について、
“先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の“今月”的主食用米の”販売数量”について、
“前年 同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

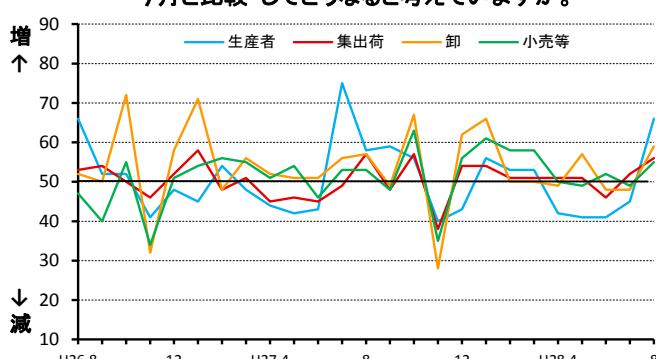
a. 今月との比較

生産者	前月からの増減	+21	(今月の数値 66)
集出荷	前月からの増減	+4	(今月の数値 56)
卸	前月からの増減	+11	(今月の数値 59)
小売等	前月からの増減	+6	(今月の数値 55)

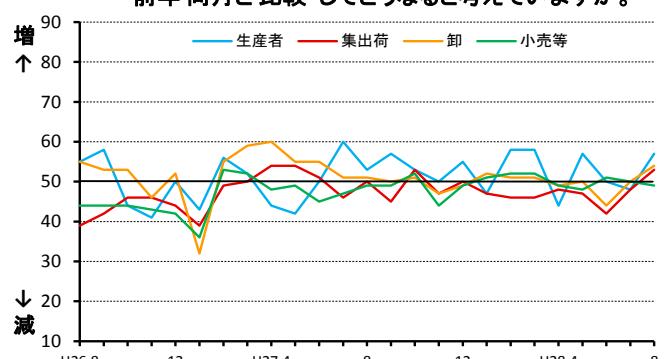
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	+9	(今月の数値 57)
集出荷	前月からの増減	+5	(今月の数値 53)
卸	前月からの増減	+4	(今月の数値 54)
小売等	前月からの増減	-1	(今月の数値 49)

①-イ-a 貴社の“来月”的主食用米の”販売数量”について、
“今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の“来月”的主食用米の”販売数量”について、
“前年 同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、
反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断DI

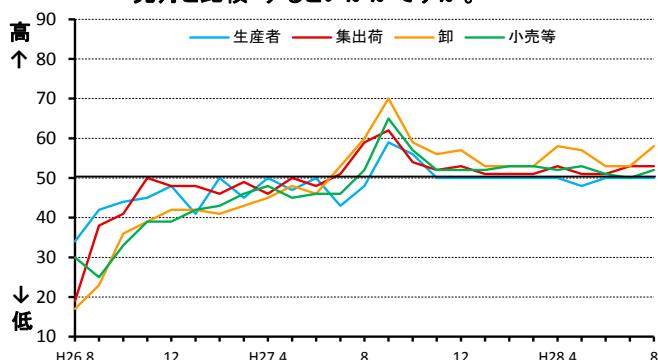
a. 先月との比較

生産者	前月からの増減	±0	(今月の数値 50)
集出荷	前月からの増減	±0	(今月の数値 53)
卸	前月からの増減	+5	(今月の数値 58)
小売等	前月からの増減	+2	(今月の数値 52)

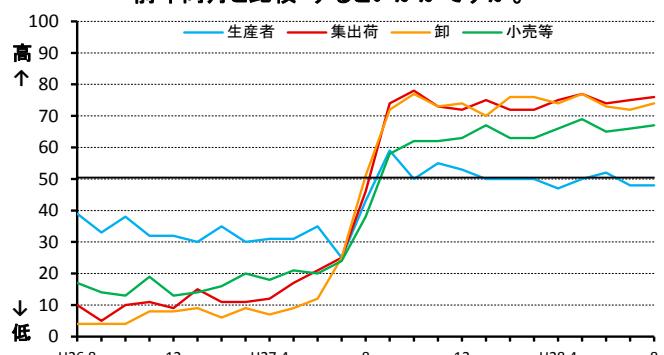
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	±0	(今月の数値 48)
集出荷	前月からの増減	+1	(今月の数値 76)
卸	前月からの増減	+2	(今月の数値 74)
小売等	前月からの増減	+1	(今月の数値 67)

②-ア-a 貴社の“今月”的主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”的主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しDI

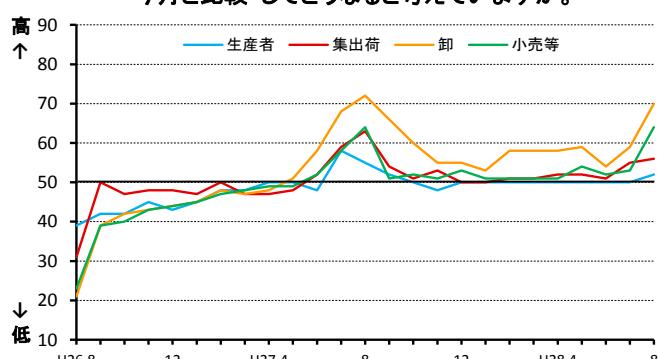
a. 今月との比較

生産者	前月からの増減	+2	(今月の数値 52)
集出荷	前月からの増減	+1	(今月の数値 56)
卸	前月からの増減	+11	(今月の数値 70)
小売等	前月からの増減	+11	(今月の数値 64)

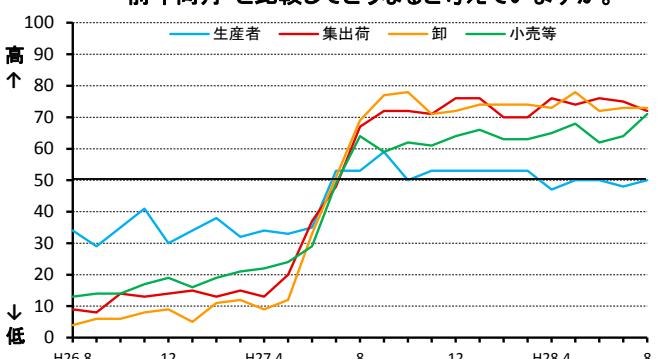
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	+2	(今月の数値 50)
集出荷	前月からの増減	-3	(今月の数値 72)
卸	前月からの増減	±0	(今月の数値 73)
小売等	前月からの増減	+7	(今月の数値 71)

②-イ-a 貴社の“来月”的主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”的主食用米の“価格”について、“前年同月”と比較してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、
反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

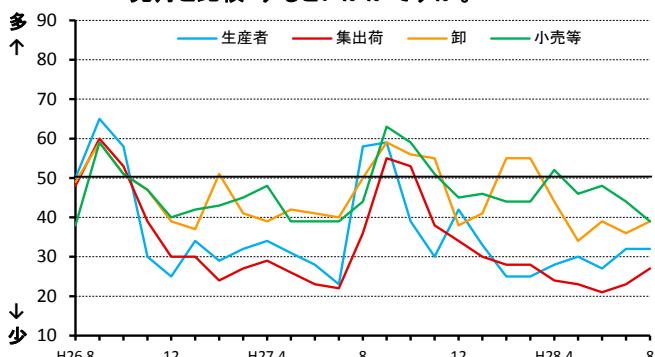
a. 先月との比較

生産者	前月からの増減	±0	(今月の数値 32)
集出荷	前月からの増減	+4	(今月の数値 27)
卸	前月からの増減	+3	(今月の数値 39)
小売等	前月からの増減	-5	(今月の数値 39)

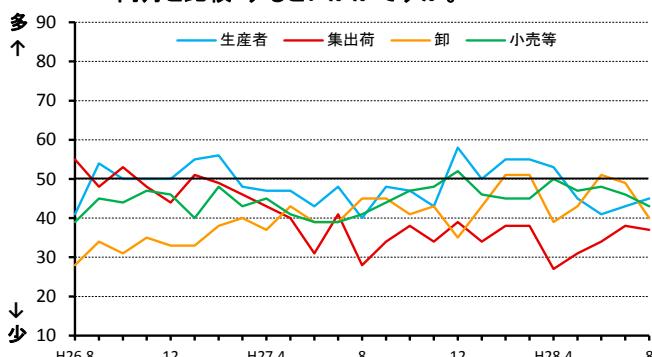
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	+2	(今月の数値 45)
集出荷	前月からの増減	-1	(今月の数値 37)
卸	前月からの増減	-9	(今月の数値 40)
小売等	前月からの増減	-3	(今月の数値 43)

③-ア-a 貴社の”今月”的主食用米の”在庫量”について、
”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”的主食用米の”在庫量”は、”前年
同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

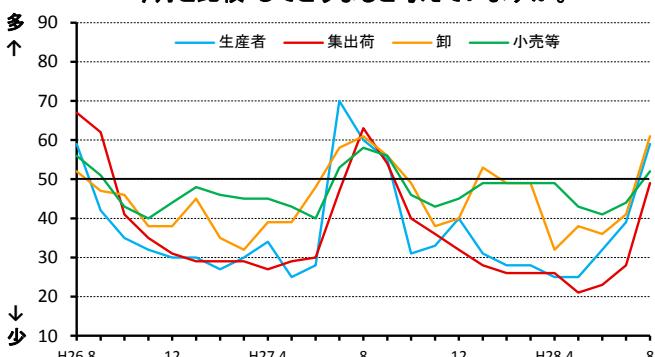
a. 今月との比較

生産者	前月からの増減	+20	(今月の数値 59)
集出荷	前月からの増減	+21	(今月の数値 49)
卸	前月からの増減	+20	(今月の数値 61)
小売等	前月からの増減	+8	(今月の数値 52)

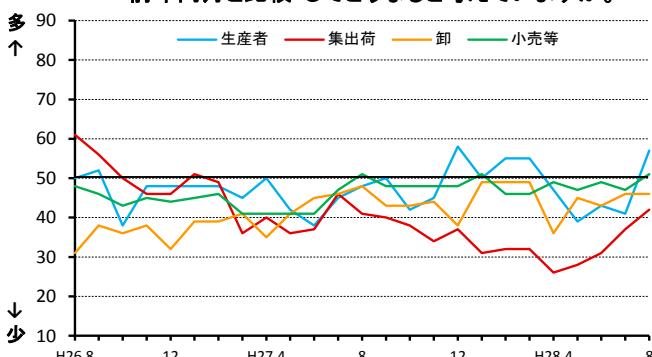
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	+16	(今月の数値 57)
集出荷	前月からの増減	+5	(今月の数値 42)
卸	前月からの増減	±0	(今月の数値 46)
小売等	前月からの増減	+4	(今月の数値 51)

③-イ-a 貴社の”来月”的主食用米の”在庫量”について、
”今月と比較”はどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”的主食用米の”在庫量”について、
”前年同月と比較”はどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体
- 有効回答数：137客体

生産者 11
集出荷業者／団体 28
卸売業者(主に主食用米) 26
小売業者／中食・外食業者 55
その他 17

〔※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者〕

- 結果公表：翌月上旬(公表日時は半期ごとにホームページに掲載)

《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、当面の間試行的に実施するものであり、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乘じてDIを算出します。
ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

【DIの算出例】

(問) 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)			48.4		

本件に関する問い合わせ先

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町15-15

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

情報部 TEL03-4334-2161

担当：藤原 小野塚